



株式会社賀陽技研

本社：岡山県加賀郡吉備中央町黒山12
 業種：製造業
 従業員数：28名（令和2年6月1日現在）
 創業：1973年
 資本金：620万円
 拠点：岡山・大阪
 URL：https://kayougiken.co.jp/
 経営理念：



- 一、モノづくりを通し顧客に安心され喜ばれ頼りにされる会社
 - 一、社員一人ひとりの笑顔と力が合わさり次世代へと続く会社
 - 一、社会のひとびとの幸せづくりをお手伝いする真面目な会社
- 国土強靱化団体認証 レジリエンス認証 取得企業 (2016年～)**



BCP策定に取り組まれたきっかけ

- ・2012年に父から平松精工という会社を買収した形で事業スタート。（賀陽技研創業）
- ・まずは会社の名前をアピールしなければと考えている中で様々な場所へ顔を出していた。その中で（一財）危機管理教育&演習センターの細坪先生から「**災害が少ない岡山でBCPを活用したブランド化**」という話があり、まさにこれだと感じた。
- ・また、細坪先生より**早期復旧できても取引先がなくなるとは意味がないこと、どんな状況でも経営を維持していかなければならないことを学び、BCPの取組は経営戦略の一部としてスタートしたので、防災的観点からのスタートとは少し異なる。**

BCPの特徴・こだわりポイント

- ・フォーム自体は作成しているが、**重要なのは「中核事業」「復旧までのスピード」「止めても良い事業の見極め」「権限移譲」**だと考えている。この4つの部分が企業オリジナルのBCPへ織り込むべき点である。
- ・**BCP策定のためにお金をかけるのではなく、本業と関係してどの方面でも使える仕組み作り。**例えば、従業員の安否確認については、安否確認だけを行うシステムを導入するよりは、本来業務でも活用するOffice365のTeamsを応用。日頃の業務からTeamsを使っているので、有事の際にも慣れた対応が実現できる。
- ・新潟県燕市の同業者と「**お互いさまBCP連携**」を締結し、代替先確保・生産納品の維持を実現できるようにしている。

BCP策定のメリットやBCP策定・運用にあたり苦労した点

- ・事業内容の変化に伴い、大幅な見直しをやりようと考えているものの、まだ実現できていない。中核事業の見直しについても、経営戦略に掲げ、中長期ビジョンにも織り込んでいたものの、やはりいざ実現となると現在の軸を変えることとスピード感のジレンマでもどかしい感じになってしまっている。
- ・県内企業とのお互いさまBCPネットワークの構築、地域連携。

NHKニュースにて取り上げられた新潟県の協定締結先業者とのBCP実動演習の様子

